

第6学年 国語科授業実践

1 単元名 登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合おう  
「海の命」

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性等
語句と語句との関係、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。</li> <li>文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。</li> <li>文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。</li> </ul>	登場人物の関係等に着目して自分の考えを広げることによって進んで取り組み、学習問題に沿って互いの意見を交流しようとすることができる。

3 教材のとらえ

本教材は、中心となる人物・太一の少年期から始まり、青年、壮年になるまでの生涯が、6つの場面構成で描かれている。そこには、自然を舞台に、太一の成長する姿が描かれている。まずは、場面の構成を捉えることによって、作品の山場とそこに表れる太一の生き方を読み取ったり、その生き方に影響を与える人物の心情、相互関係をつかませたりしたい。また、太一の成長に影響を及ぼしているのは人間だけではないことにも気づかせたい。海やクエのように、環境や事物の描写にも丁寧に触れ、様々な影響を受けながら太一が成長する姿を読み取り、自分自身の生き方を見直すきっかけとなると良いと考える。

物語を読み取っていく中で、太一やその周辺の人物の生き方や考え方に共感を覚えたり、自分とは違うと感じたりすることがあるだろう。それを、単元の終わりにまとめ、それらに対する自分の考えをまとめて発表し合う時間を取りたい。



#### 4 本時の指導案

##### 本時の目標

主人公の心情や見方・考え方の変化を捉え、自分の考えをもつことができる。

##### 本時の学習

学習活動	教師の支援
1 本時のめあてを確認する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">           太一が瀬の主を打たなかったわけを交流しよう。         </div>	
<p>2 太一が、瀬の主を打たなかったわけを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「千びきにーびきでいいんだ。」という与吉じいさの命を大切にすることを思い出し、自分がやろうとしていることを考え直したんじゃないかと思う。</li> <li>• 「本当の一人前の漁師」とは、大物をしとめる漁師だと思っていたけど、与吉じいさの姿や言葉を思い浮かべ、「最小限だけ命をいただき、海の命を大切にすることを漁師」が「村一番の漁師」だと考えるようになったと思う。</li> <li>• 母の存在が大きいと思う。太一は、父の死をずっと悲しんでいる母の姿を思い出し、これ以上母を悲しませたくないと考えたと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 前時まで、瀬の主を打たなかったわけを書かせておく。</li> <li>• わけを書かせる際には、登場人物がそれぞれこの場面の太一にどの程度影響を与えているのかを踏まえながら書かせるようにする。</li> <li>• 自分の考えをまずはグループで共有する。</li> <li>• グループで共有した後、全体で共有する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【思考・判断・表現】</b>            叙述を基にして、瀬の主と太一との関係性の変化について、他の人物との関わりとを結び付けて想像している。（発言・記述）</p> </div>
<p>3 最終場面の太一について読み取り、「村一番の漁師」とはどのような漁師か話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 与吉じいさの教えのように、無駄に命を取らず、海と共存していく漁師のことだと思う。</li> <li>• 海の生き物の命も大切に考える漁師。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 六の場面を範読する。</li> <li>• 「村一番の漁師」の前後の叙述から考えるように声を掛ける。</li> <li>• これまでに読み取ってきた、登場人物と太一の関係にも着目させる。</li> </ul>